



「H29情報モラル教室」学習のまとめ（掲示用）

夏休み前に、最近のスマートフォン等の問題やトラブルを学習し、未然防止につなげることを目的として、今年も「情報モラル教室」を実施しました。これらの事案、事件は、年々変化しているため、新しい情報で継続的に学習していく必要があります。みなさんが知らない新たな危険もたくさん生まれています。

今回の学習内容に昨年度の学習内容も入れてまとめましたので、今一度ふりかえってみましょう。

「自分を守るための生きる力」として、これからに生かしていきましょう。

【H28】

- ★ 事故にあわない、起こさないために、自転車乗車中の携帯電話の禁止（佐賀県条例違反）罰金5万円。
- ★ 安易に公の場で言う（ネットに書き込む）と法令違反（犯罪者）になってしまう事案がとても多い。
「大人も子どもも知らなかったではすまされない」正しい知識をもち、自分を守ることがとても重要。
 - ◀名譽棄損罪▶ 「〇〇は、万引き犯だ。」「〇〇は、いじめの中心人物だ。」
 - 「〇〇と〇〇はつきあっている」等
 - ◀侮辱罪▶ 「〇〇は、気持ち悪い。うざい。きもい。」「〇〇は、嫌なやつ。」等
- ★ 匿名での書き込みや投稿であっても、誰が出したものなのかすぐにわかってしまう。ふざけた写真や人を傷つける書き込み等を絶対にネットに載せてはいけません。知らない間に、あっという間に、世界中にとても速く、広く伝わってしまう。そうならないために公開範囲の制限で設定しておくことは重要。
- ★ スマートフォンで撮った写真には、位置情報が隠れている。写真をアップして、悪い人に住所等の個人情報を知られないためには、位置情報をOFFにしておく。
- ★ 「あなたの書き込みは世界中から見られている」「いったん公開した情報は永遠に消えない」「その書き込みをインターネットは永遠に忘れない」自分が安易に載せた情報に、一生苦しめられる危険性もある。訴えられたら、子どもだから大丈夫、許されるものでは決してない。「一時的なノリや楽しさでアップしました。」ではすまない。
- ★ 様々な情報に踊らされない。うのみにしない。簡単に受け入れない、信用しない。情報には、うそや偽りもある。本当のことがどうかを判断できる力、正しく判断しようとする日頃からの意識、心構えが必要。
- ★ 相手の顔が見えないことの恐ろしさを認識する。ネット上の写真や文章だけでは、相手の本当の姿はわからない。「なりすまし」でだまされるケースも多発している。「世にはびこる魔の手はあなたのすぐ近くにある」安易に会員登録、メールアドレス登録をしない。悪質なワンクリック請求は無視する。たとえ相手から「会いましょう。」と誘われても、絶対に会いに行きたくはない。犯罪に巻き込まれず、被害に合わないためには、見えない相手の求めや請求に応じず、親、学校（警察）に必ず相談をする。

【H29】

- ★ スマホや携帯、インターネットは、便利なツールだが、使い方によっては、とても危険なツールであることを十分に知って使う必要がある。
- ★ 社会的な著作物には、「著作権」がある。著作権法違反は、2年以下の懲役又は200万円以下の罰金となる。
- ★ 歩きながらや自転車、バイク、自動車に乗りながらスマホを扱うのは、事故に遭う可能性がとて高く、大変危険である。視界が通常の20分の1に狭くなり、周りが見えなくなる。
- ★ インターネットの書き込みは、ノートの端っこに自分だけでこっそり書くのとは全く意味が違う。インターネットの書き込みは、世界中の人々に発信していること、見られていることと同じことで、大問題になる危険性があることを絶対に忘れてはいけない。
- ★ 最近は、端末を乗っ取られての「なりすまし」で、自分は身に覚えがなくても悪用されて大問題になってしまうケースが多発している。（メールや写真等のいろいろな個人情報や保存データが抜き取られる・位置情報が漏れる・勝手にメールされる・盗聴、盗撮される等、本人が知らない間に行われる）最近は、子ども間でのなりすましも問題となっている。これらは、自分の不注意が生んだもので、自分のIDやパスワードを絶対に他に（たとえ親友であっても・・・）漏らしてはいけない。親友だったとしても、後で仲が悪くなってから悪用されるケースがある。また、不正なアプリを安易にインストールしない。不自然な要求はキャンセルする。モラルも大事だが、日頃からのセキュリティはとて重要。
- ★ 長時間夢中になりすぎて心身に悪影響を及ぼす「ネット依存」の問題は大きい。（食事中も携帯等を離さない、風呂にも持って行く、勉強や寝る時間を割いてまで使いすぎる等）学力低下の要因にもなっている。やりすぎず、時間を決めて使うことがとて大切。ネット依存は、アルコール、タバコ、ギャンブル等への依存（中毒）と本質は同じである。

